

東日本大震災から7年

～各界からの提言～



伝統会津ソースカツ丼の会会長 中島 重治氏



七日町通りまちなみ協議会会長 渋川 恵男氏



会川 鉄工株式会社代表取締役 会川 文雄氏



東洋システム株式会社代表取締役

庄司 秀樹氏

毎年、東日本大震災が発生した日が近づくたびに、私は会津は西軍によって壊滅的な打撃を受けた戊辰戦争を思い浮かべます。戊辰戦争150周年の今年はなおさらです。「街道をゆく」(33)/白河・会津のみち

2月に東京で本県のイベントがあり、県内の酒造業、食材や農産物の生産者が集結し、自慢の品をアピールしました。相手は福島ブランドを積極的に使っておられる飲食や食品販売の方々で強い絆を感じました。

福島から百年の木植えよう

昨年、「会津地域世界農業遺産推進協議会」が発足しました。会津には「会津農書」という会津の四季や自然環境を生かした伝統農法や生物多様性が守られる土地利活用を体験的にまとめた書物があります。今、世界中で「世界農業遺産」への関心が高まっており、新たなビジネスチャンスとしても注目を集めています。

す。一日も早い登録を願います。

先日、会津大学および短大の学生は「会津農書」について会津の四季や自然環境を生かした伝統農法や生物多様性が守られる土地利活用を体験的にまとめた書物があります。今、世界中で「世界農業遺産」への関心

が高まっており、新たなビジネスチャンスとしても注目を集めています。

で作家司馬遼太郎氏は戊辰戦争の状況を歴史の中で、都市一つがこんな目に遭ったのは会津若松市しかないと断言しています。会津若松市は原発事故に見舞われた「福島県」に置き換えてはどうでしょう。作家半藤一利氏は「歴史に『何』を学ぶのか」(ちくまプリマリー新書)の中で「愚者は経験に学び、賢者は歴史に

見る製品を造つてまいりました。震災後は金属加工の技術とワイヤーを生かし、風力発電の風車部分を支えるタワー製造に新規参入しました。風力発電が必要な部品は自動車子力に代わる新たな産業が必要だと思います。

弊社は創立以来、炭鉱や原発関連事業など日本のエネルギー分野を支

えの倍以上の速度で復興に取り組まないと、復興期間が終わつた後の経済状況に大きな差が出来てしまいまして。大企業を誘致し、地元に住む若者が安心して家族と一緒に生活できる環境づくりが本当の復興だと思います。

&MIRAI試乗体験は今年で7回

ないことに危機感を抱いています。今倍以上の速度で復興に取り組まることで、復興期間が終わつた後の経済状況に大きな差が出来てしまいまして。大企業を誘致し、地元に住む若者が安心して家族と一緒に生活できる環境づくりが本当の復興だと思います。

トヨタ自動車から協力いただいていたい燃料電池作りは、小学生が科学を学びたい、環境自動車を作りたいなどの動機付けになっています。

高専生や工業高校に展開するEVアカデミーも、科学技術・先端技術を持った若者を増やすためさらに加速させていきたいと考えています。

歴史に学ぶ賢者でありたい

つまり自分の経験でしか価値判断できない愚者は想像力に欠け、未来を見通せないということです。戊辰戦争後、近代化の名のもとに軍国主義に走った日本は中国に攻め入り、太平洋戦争へと突入しました。戊辰戦争から150年原発事故から7年私たちは過去の過ちを胸に刻み、福島県にどのような地方創生の未来図を描くのか、歴史に学び、次世代に伝えいかなければなりません。

風力発電の製造拠点を目指す

で作家司馬遼太郎氏は戊辰戦争の状況を歴史の中で、都市一つがこんな目に遭ったのは会津若松市しかないと断言しています。会津若松市は原発事故に見舞われた「福島県」に置き換えてはどうでしょう。作家半藤一利氏は「歴史に『何』を学ぶのか」(ちくまプリマリー新書)の中で「愚者は経験に学び、賢者は歴史に

見る製品を造つてまいりました。震災後は金属加工の技術とワイヤーを生かし、風力発電の風車部分を支えるタワー製造に新規参入しました。風力発電が必要な部品は自動車子力に代わる新たな産業が必要だと

思います。

弊社は創立以来、炭鉱や原発関連事業など日本のエネルギー分野を支

えの倍以上の速度で復興に取り組まないと、復興期間が終わつた後の経済状況に大きな差が出来てしまいまして。大企業を誘致し、地元に住む若者が安心して家族と一緒に生活できる環境づくりが本当の復興だと思います。

トヨタ自動車から協力いただいていたい燃料電池作りは、小学生が科学を学びたい、環境自動車を作りたいなどの動機付けになっています。

高専生や工業高校に展開するEVアカデミーも、科学技術・先端技術を持つ若者を増やすためさらに加速させていきたいと考えています。

まだ、ものづくりの技術を応用し、介護現場で役立つロボット開発にも着手しています。まだ発展途上ですが、地域に貢献できるようこれからも挑戦し続けてまいります。

地元の環境づくりが大切

「発信したいと思っています。

昨年7月には日本初の風力発電タワー専用場を新設し、小型と中型のタワーを製造しています。今後はさらに受注を増やし、より効率的な並みに多く、定着すれば大規模な産業となります。弊社が先駆けてして市場を拡大し、将来は、国産の風力発電製造拠点として浜通りから世界

に向けたものづくりの技術を応用し、カブミーも、科学技術・先端技術を持つ若者を増やすためさらに加速させていきたいと考えています。

高専生や工業高校に展開するEVア

カデミーも、科学技術・先端技術を持つ若者を増やすためさらに加速させていきたいと考えています。

まだ、ものづくりの技術を応用し、介護現場で役立つロボット開発にも着手しています。まだ発展途上ですが、地域に貢献できるようこれからも挑戦し続けてまいります。

「人間の復興」担う人材育成